

# 「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」を目指して

## 1. はじめに

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から2年6ヵ月となりました。

本県は、今も約15万人の県民が避難生活を余儀なくされるなど、依然として厳しい状況が続いております。しかしながら、国内外からの多くの御支援、県民のたゆまぬ努力により、企業の生産活動も回復しつつあり、また、大河ドラマ「八重の桜」の効果等もあって県内の観光地は賑わいを見せるなど、本県は少しずつ元気を取り戻してまいりました。改めて、心から感謝を申し上げます。

こうした中、ふるさとへの帰還も一部で始まり、被災した公共土木施設等は、約8割で復旧工事等に着手し、約6割が完了するなど、着実に復旧・復興が進んでおります。

## 2. 福島県総合計画「ふくしま新生プラン」

県では、こうした復興への流れを着実なものとするため、福島県総合計画「いきいき ふくしま創造プラン」の全面的な見直しを行い、昨年末、新たに「ふくしま新生プラン」を策定しました。計画期間は、平成25年度を初年度として平成32年度を目標年度とする8ヵ年計画となります。

県づくりの基本的考え方は、これまでの総合計画の精神を引き継ぎ、基本的な考え方である「人と地域」を礎として、「活力」「安全と安心」「思

いやり」を三つの柱に位置付けております。さらには、復旧・復興の視点を重視し、「人と地域」では、「避難地域の再生・避難者の生活再建」、「活力」では、「再生可能エネルギー」、「安全と安心」では、「原子力災害対策」などを主要施策に盛り込んだところであります。

また、復興計画に沿って予算を重点的に配分するなど、最も力を入れて推進してきた環境回復、生活再建支援を始めとする12の重点プロジェクトを総合計画にも取り込むとともに、極めて深刻な課題である人口減少・高齢化対策も加え、復興計画と一体的に推進することとしました。

さらに、今年3月11日には、これまでの取組の成果を土台に、復興の動きを加速させるため、「新生ふくしま復興推進本部」を設置し、国・市町村との窓口の一元化、総合調整機能の強化、復興・再生に係る取組の一元管理を図る体制を構築いたしました。

## 3. 「ふくしまの未来を拓く県土づくりプラン」

震災、原発事故、風評、さらには新潟・福島豪雨などの一連の災害からの復興に向けて、公共土木施設等の早期復旧と整備充実による効果は非常に大きいことから、きめ細かく、かつスピード感を持って進めなければなりません。

このため、福島県民が、地域の文化や風土が息

福島県知事 佐藤 雄平



づく美しい県土で、以前のように一人一人が笑顔で暮らす生活を一日でも早く取り戻せるよう、「ふくしまの未来を拓く県土づくりプラン」を今年3月に策定しました。

このプランは、総合計画の理念を具現化するため、県土の将来を見据えた内容に整理し直し、復旧・復興を第一に考え、将来に夢や希望が持てるような元気の出る計画といたしました。

5つの重点施策を掲げ、一日も早く県土の復旧・復興を成し遂げるんだ、との思いを胸に、全庁一丸となって取り組んでまいります。

#### ○5つの重点施策

##### ①避難者の居住の安定確保

避難者・避難自治体のために、県営の復興公営住宅を整備し、また、避難自治体の要請に応じ県が建設の代行もします。

##### ②公共土木施設等の復旧

概ね平成27年度までに復旧させます（避難指示解除区域については、事業に着手してから概ね5年以内の完成を目指します）。

##### ③津波被災地の復興まちづくり

概ね平成27年度までに海岸堤防と防災緑地を整備します（同上）。

##### ④避難指示区域の復興を支える道路整備

概ね10年で避難指示区域と周辺的主要都市や高速道路を結ぶ幹線道路を「ふくしま復興再生

道路」として整備に取り組みます。

##### ⑤放射性物質に汚染された下水汚泥の適切な処理・処分

一日も早く下水汚泥が搬出できるよう取り組みます。

復興の状況については、わかりやすくお伝えできるようにデータや写真などを活用した「ふくしま復興のあゆみ」を作成しております。県のホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

HPアドレス

<http://wwwcms.pref.fukushima.jp/>

## 4. おわりに

福島県を築いてきた偉大なる先人たちのように、私たちも「新生ふくしま」の構築に向けて努力を続け、50年後、100年後の子孫が後世に語り継ぎたいと思えるような、世界に誇れる復興を成し遂げたいと考えております。

全ての県民が夢や希望を持っていきいきと活躍できる社会、人々が安心して日々の生活を送り笑顔に満ちあふれた社会、さらには、原子力に依存しない安全で安心な新しい社会を目指し、「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」を創り上げてまいりたいと考えております。引き続き、みなさまのお力添えをお願いいたします。